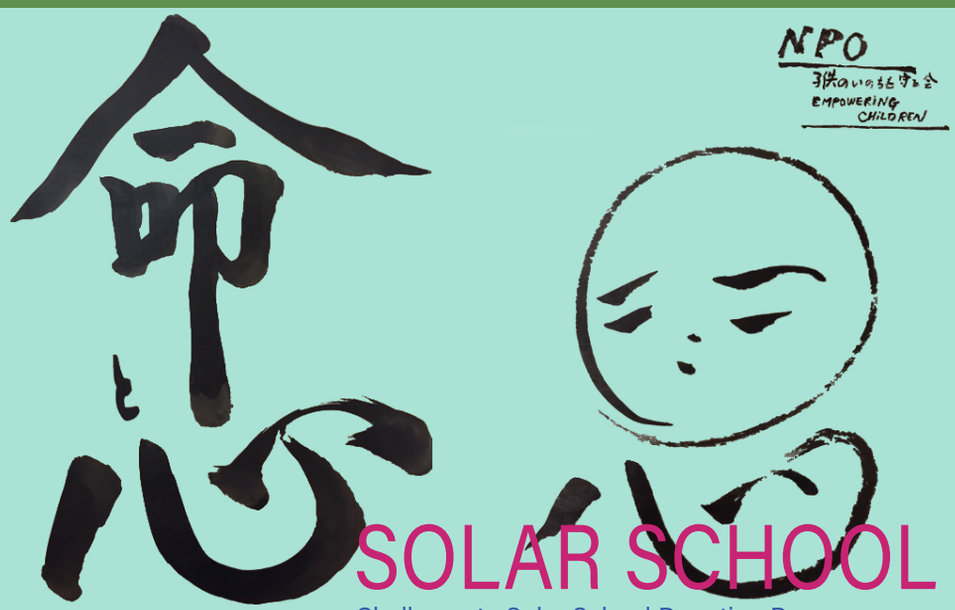
NPO法人 子どものいのちを守る会 https://empowering-children.tokyo/

Protect Children's Life

Empowering Children

3/ 2021
令和３年　３月号
2021 March Edition



SOLAR SCHOOL への挑戦

Challenge to Solar School Donation Program

皆さん　　お元気ですか

コロナでは関西の京都、大阪、神戸が時々もめていますが、言葉のみならず文化、風土が全く違うと、ある京都の大学の学長さん（東京育ち）が言っておられた。この学長が大阪・京都出身の先生との会話で関西弁を使ったら、”一緒にせんといて”と言われたそうな。ごく狭い関西でありながら、多様性（ダイバーシティー）があり、東京を中心に均質な首都圏とは違う。京都は国の都にあり続け歴史や伝統だけでなく多様性を受け入れる土壌がある。企業でいえば、京セラ、オムロン、村田製作所、日本電産、ローム等はその CSR 活動から個人を大切に多様性を認め尊重している証拠ではないか。

勿論、京都の人は”裏では何かを考えているけど、余り本音を言わない。”大阪の人は”ずけずけ言うが裏が無い”という。そんな見方もある。”一緒にせんといて”と言えるのは、それぞれの違いを言い合える遊び心や成熟した言語文化があるからだろうと、先の学長が分析されていました。この学長とは 2020 年 4 月に就任した同志社大学の植木朝子さんです。

こうした関西ならではの多様性と発想は、東京一極集中社会の常識の軸をずらすことが出来るのではないかまた自粛生活の孤立がコミュニケーションの重要性を浮かび上がらせた今だからこそ、より重要な視点となると発信されています。

その多様性に関し、古代インドの聖典アユルヴェーダは人類の平等を標榜しているあらゆる人が食物と水を分け合い調和の中で暮らしてゆくべきだ。

ダライ・ラマ 14 世（チベット今日の最高位）は先祖から子孫へとつながる命の連続性と国と社会といった文化の連続性の中に存在する。思いやりと他を助けようとする心を実践するのが大切だ。ガンジーは民主主義は完全なものではないと言い、機能する唯一の社会システムである。ごく一部の人に権力が集中すると民主主義は機能しない。力は全ての人に共有されるべき。モディ首相は次の 10 年は共に学び、革新する人たちの時代だ。人類は過去に対立する道を取ったが、敵意によって平和は実現しない。過去から学び、より良い未来の為に協働する事が次世代の為にやることだ。

それぞれ素晴らしいフィロソフィーを紹介されています。ご参考になればと思います。

理事長

ご寄付頂ける方はこちらからお願いいたします

ジャパンネット銀行：店番号 005、口座番号 (普通)1290689
口座名義 トクヒ) コドモノイノチヲマモルカイ

クレジット決済：
https://empowering-children.tokyo/donation/

NPO法人
子どものいのちを守る会

〒162-0805
東京都新宿区矢来町 123　矢来ビル 3F　Tel. 03-5227-1877

お問い合わせ
kdm.mamorukai@gmail.com